人が輝き まちも輝く 輝らり室蘭

室蘭手わざ

伝統の技を伝えたい

●むろらんてわざ
平成2年に表具、鋳物、刀剣、菓子などの異業種の職人で結成。定期的な作品展と、市民向けの体験教室を開催している。代表は大澤幸一郎さん。現在、11人11業種の会員により活動中。

「室蘭手わざ」は、地域に根付く伝統の技を多くの人に知ってもらおうと結成された職人の集団である。

他市で開催されていた職人の実演販売を見て「室蘭の職人たちの作品も多くの人に見てもらいたい」と思いを強くした大澤さんを中心に、業種の枠を超えて交流し、活動を展開している。

平成3年から毎年開催してきた作品の展示会「手わざ展」は、20年の節目を迎え、今年で最後となる（18ページ参照）。過去19回の作品展には、延べ6万人の来場者が訪れ、職人技を披露してきた。作品展は、毎回同じではすぐに飽きられてしまう。そのため、共同作品にしたり、会員以外の作品を募集するなど、開催するたびに工夫を凝らしてきた。

「大変でしたが、作品を見入る人たちの姿に励まされ楽しかったです。今回も職人たちの技をお見せしますので、是非ご来場ください」と、最後の作品展に向けて準備が進められている。

今後は、主に修学旅行生を対象とした「ものづくり体験教室」を実施していく予定。室蘭のものづくり文化を担う職人たちの、新たな挑戦に期待が膨らむ。

夜景ビュースポット ②
八丁平展望台

住宅街の片隅にあり、白鳥大橋を真横から眺める小さな展望台。西の空がオレンジ色に染まる夕暮れ時は、白鳥大橋のシルエットが美しく浮かび上がります。日が落ちてからは、ふもとに本輪西町や港北町のまち明かりが広がり、プロビデンス号を模した本輪西汚水中継ポンプ場の建物がライトアップされて、白い姿が一層輝きを増してきます。

〈場所〉八丁平２丁目

協力：室蘭観光推進連絡会議 夜景・ものづくり観光ワーキンググループ

人のうごき
（平成22年3月末現在）
人口　95,150（−359）
世帯　47,835（−133）
（　）は前月比

軽自動車税
5月31日までに
納めましょう

編集後記

▶４月１日付けで観光課へ異動となった。市民対話課に丸５年。イベントや風景の写真撮影でまちを知った。取材先で大勢の人に出会い、人脈というかけがえのない貴重な財産を築いた。今までの経験を生かし、これからは観光担当として、夜景を含め、室蘭のPRに取り組む。（て）

▶４月から広報に異動。一眼レフを持つのも、広報紙を作るのも初めて。絞り？構図？リードってなんだ？これからは勉強の毎日。皆さん、カメラを持つときは脇をしめて！（お）

▶コンサドーレ札幌のスタッフが室蘭大会の成功へ向けて頑張っている。今回は会場周辺も特別仕様という力の入れよう。その熱意に「サッカーのまち」として観客動員と熱い応援でお返ししたい。（え）

▶「室蘭手わざ」の作品は高い技術と職人魂が生み出したまさに珠玉の一品。我が市民対話課も広報職人である（き）のもとマイスターメイドな広報紙を目指して頑張りたい。（こな）

▶くじらん生誕20年。市のマスコットとして馴染み、カントリーサインは市内外でも人気。My20歳は通算職歴。周囲の仕事への熱意と姿勢を手本に新たな一歩をくじらんと共に踏み出す春に。（ゴ）

▶年度替わり、人事異動と慌しく１カ月が過ぎ、気がつけばあちこちから桜の便り。ということで今月号は市内の桜の名所を紹介。連休はぜひとも桜巡りを。そういう私の連休は、花よりダンゴ？（き）

広報むろらん
2010年5月1日 No.950
■発行・編集
北海道室蘭市市民対話課
〒051-8511 室蘭市幸町1-2
☎ 0143-25-2193
FAX 0143-25-2835
HP http://www.city.muroran.lg.jp/
■印刷
日光・富士特別共同企業体